



空堀ことば塾は、2006年10月、昭和の風情を色濃く残す空堀で生まれました。現在は上本町西三丁目、旧熊野街道そばの路地の奥にある木造二階家で活動しています。

知・情・意を育てる

「空堀ことば塾」

この街には、お家芸である実学と芸能の精神が脈々と息づいています。空堀ことば塾は、大阪の隣に位置する上町台地、そして空堀という土地から力をいただきながら、シユタイナーが創始したアントロポゾフィー（人智学）と呼ばれる人間学に基づいた教育（日本ではシユタイナー教育と呼ばれる）に取り組んでいます。

シユタイナー教育は、旧オーソリア帝国（現クオアチア）生まれの教育家、思想家のルドルフ・シユタイナーが創始し、「自由への教育」として知られています。ここでいう自由とは、欲望の身勝手な発露や近代的な権利の主張ではなく、ひとりひとりの人間が与えられた人生を意識的に生きる意志の自由を意味します。

シユタイナー教育のカリキュラムは、教科書を用いず一定期間同一科目に継続的に取り組むエポック授業に代表されるユニークなものです。とはいえ、空堀ことば塾の役割は、確立した制度やイデオロギーに盲従するのではなく、シユタイナーの思想を継承しながら、日々の教育実践、学びと協働を通じて、地域にあった教育を生み出すことです。

からほり新聞

第26号 (2013.3.18)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

「からほりさん」News

当会は寄付が主な活動資金です。この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

- 島之内図書館
■大阪文学学校
■かみなり亭寄席

お買い物は空堀商店街で

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- からほりさん バザー
■かかし作り
■みんなで集う春のコンサート30
■大阪暮らしのサポートセンター

高齢者外出介助の会とは？

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
⑤ハーモニカ教室
⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。
大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: odekake-karahori.com

☆編集後記
今年の冬は例年より寒かった感じですが、空堀近辺では一度も水がはらず、雨水を過ぎて水温を感じなくなりました。(や)
◇商店街のお店がいろいろ変わってませんか？新しいお店が増えて行かなくなってしまうのが空堀新聞で新しいお店特集ともやってみたいですね。(のぶ)
◆6月には2人目の女の子が生まれます。今しかできない子育て

てを楽しもうと思います。(岡)
◇今年には寒さが身に伝えた。年々寒がりになるようで体力の降下を実感。しかし、気力と夢だけは萎えていないことに希望を感じています。(ケラコ)
◆大好きな街から大阪の笑顔が消えて行きそう！ 浪速の色、御堂筋のイチョウの匂い、町工場の活気。赤バスの廃止etc、大阪の力がカジノにつぶされそう！ 助けて!! (矢)

家庭教師

ワンランク上の学校をめざせます。わかるまで丁寧に教えます。不登校、ひきこもりの指導もできます。

講師 甲斐 信行
TEL 080-2715-1095(担当:桑野)

「箏・三絃」教室

箏曲：生田流 三絃：九州流

門脇 裕子
稽古日：相談 月謝：5,000円
TEL 080-3117-6684

自分が自分に頼まれる仕事を!



1950年、大阪生まれの大阪育ちで、堺筋本町の古い土蔵を仕事場にしてきたこともあり、

木造の町家の心地よさを知っていた西村さん。結果的に、戦災から逃れた町並みを捜していたことになり、空堀に辿り着きました。新建材を剥ぎ、壁を塗り替え、自分の手で改装してデザイン室を設けたのは8年前のこと。以来、そのアーティスティックな空間が創造の場になり、西村さんの魅力に惹き付けられた人たちが集う場になっています。そして、お酒と人が大好きな西村さんはすっかり町に溶け込み、空堀を元気にするマップづくりにも一役かっています。

コトバに言葉(ことだま)という精霊が宿るなら、カタチにも形霊(かたちだま)という精霊が宿っているはず。その原始的な形を追求することが、西村さんの発想の源になっています。「仕事をする上で、どんな力が必要ですか」という問いに、「依頼仕事の場合は理解力」という答え。「先方の立場に立って、望んでいることに対してアイデアを出す。その為には、自分の引き出しの中に答えがなければならぬ」と。



(三井康栄)

還暦を機に、自分が自分に頼まれる仕事をしていきたいと考えるようになった西村さんは、彫刻を遊具に展開しようと考え中。今年の1月8日、20日、ラズギャラリー(福島区)で開催された作品展「冬芽」で、「彫刻遊具/Amimo」として展示。テトラポットのように自在に結合することができるカタチをしていて、子どもたちが全体を使って、「抱きつく」「ぶら下がる」「くぐる」「またぐ」「すわる」ことができます。作品展の様子はYouTubeで紹介

快傑! からほり人

快傑ファイル其の二十一

始原的でプリミティブな世界を

カタチに変える

造形作家 西村建三さん

彫刻やグラフィックデザインだけでなく、ミニユメントや店舗設計・新聞の挿絵や書籍の装丁・公園のサイン計画など、幅広い分野で活躍する西村建三さん。大阪市西区土佐堀のアーバンエース肥後橋ビル前に立つミニユメント「風の樹」(平成9年制作)は、第10回大阪市都市環境アメニティ表彰を受けています。



からほりさろんに案山子

鳥取県八頭町の「ふるさとのかかしづくり」の講習で寝屋川市寝屋川の皆さんが作った案山子(あまこ)がからほりさろんに1月から滞在しています。懐かしい家族のようではほえましくなりませんか。4月に案山子のワークショップを開きます。この子達に先ず出会ってください。講習会は参加費1000円 からほりさろんで4月2日・9日(火)、時間:10時半。

懐かしい洗濯屋さん

2月13日 空堀商店街西側交差点で懐かしい洗濯屋さんを見ました。自転車でのこの袋に、綺麗に洗濯した物を、一枚一枚、丁寧にアイロンをかけ、出来上がり洗濯物を入れ、一軒一軒を周り届けています。ご夫婦で今もされておられますが、「もう歳やから、いつやめようかと夫婦で話し合っているんです」といわれました。環境にやさしい排気ガスを出さない省エネの事業がなくなります。手仕事はまだ一つ少なくなります。丁寧に出来上がるので今も探してお客さんが来ると話しておられました。からほりらしい風景が一つ消えていくのかなあと淋しくなります。

高齢者外出介助の会と田中キッズクラブのコラボ



1月28日田中キッズクラブ(田村ソーシャルネットの2階)でハーモニカおじさんの演奏が始まりました。子供たちはお母さんに抱かれていたり、中には自分の遊びに熱中している子どもと和やかな時を過ごしました。ゆっくりと流れる音の中に身を置くことが聞くより意味があるのでしよう。これからも月一回のペースで開きます。お子さんたちとおいでください。第4月曜日 11時

# 昭和二十年 真夏の卒業式

卒業式といえば、昔は「蛍の光」をうたったものだが、わたしにはその体験はない。

小学校（国民学校）の卒業は真珠湾攻撃の直後で日本軍は香港、マニラ、シンガポールを占領して戦線を広げている最中だった。イギリスは敵国で、「蛍の光」はアイルランド民謡が基となっているから、敵性音楽などもつてのほかということだった。



四月に府立高津中学校（現高津高校）へ進んだが、試験科目は口頭試問と体操だけ、わたしは体操が苦手、特に鉄棒の逆上がりで全然出来ずに困った。制服はス・フと呼ばれた粗悪な化学繊維でできていて、袖から指先が少し覗くくらいに大きくても、一度水をくぐらせると肘あたりまで縮んでしまった。全国に金属がなくなっていて、ボタンはすべて陶器製、戦闘帽の校章は刺繍を縫い付けてあった。登下校には巻脚絆というゲートルを両足に巻き付けるのだが、生地が荒いから歩いているうちに弛んで解けてくる。教師に逢えば拳手の敬礼をしなればならない。学校のすぐ横に難波宮跡の石碑があって、校名の由来だから敬礼してから校門をくぐる。戦後、山根徳太郎氏が本来の難波宮跡を発見するまで、この地が難波宮の地と信じられていたのである。

入学して在校生との対面式があった。新入生三百人を代表して挨拶したのは、つい先年まで空堀通りで山辺医院を開業していた山辺一郎である。堂々として新入生の気持ち代弁した。他の地方では上級生が下級生に暴力をふるう習慣があったときくが、上級生が下級生と対立するような気配はまったくなかった。

まともな中学生生活を送ったのは一年きりであった。二年生になると空襲に備えて市内に貯水池を掘る作業に駆り出された。若い男がいなくて、中学生が戦力の中心だった。三年生になったわたしは、家が府庁に近いということから、府庁の警備本部の伝令になった。空襲警報が鳴ると、十分以内に府庁の南門から階段をのぼって、五階の警備本部へ駆けつける。連絡網が機能しなくなったときに警察署や消防署へ走る役目だった。マリアナ諸島からB29の偵察機が毎晩三回くらいやってくるようになる、鉄カブトを枕元においてゲートルを巻いたまま

上着だけ脱いで布団をかぶった。警報が鳴るとそのたびに駆けつけるのはさすがに疲れた。

四年生ではアメリカ軍上陸に備えて和歌山へ防空壕掘りに動員された。あと桜島の住友製鋼所の天井起重機に配属されたが、これは工場が爆撃で壊されて、仕事は無くなった。

そして昭和二十年（一九四五年）八月十五日敗戦。戦争が終わったから、今から学校へ戻って勉強するといわれて、その気になれるかどうか。四年生では四年で卒業してもよろしい、以前のように五年生までいってもよろしい。ということになり、上級学校に受かったこともあり、四年で卒業した。八月、卒業式をするから登校せよと知らせをもらった。会議室に三、四〇人も集まったらうか。卒業証書ももらい、茶話会が開かれたが、真夏の卒業式は異様なものだった。弁当のかわりにサツマイモが一本出た。「蛍の光」は歌わなかったし、歌える雰囲気ではなかった。（福田紀一）



## ケラ子の介助日記 作りながら思ったこと

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

人形作りを始めて数年になります。初めは会員が作ったのをサロンで展示して見ただけでした。会で教えてほしいと言った人があり会員が教えることになりました。見ていたら作りたくなり、作る人になりました。今は作る過程が面白くはまってしまいました。知人から結婚夫婦の人形を作るとリクエストがありました。イメージを描きケーキの上に載せるといので大きさも考え取り掛かりました。歳でしようか前ほどの集中力がなく、途中でうるうる庭に出て小さな花の苗を植え替えたりお茶を飲んだり。再び手を動かしながら頭では思いが巡り「楽しいことを自分で選んじながら出来ることは

幸せだ」と思ったので、出来なくなるときが来たら、私はその状況を受け止められるだろうか。いのちの電話の先生に聞いたのです。見舞いに行ったら「何も出来ない。生きている甲斐がない」と嘆かれたそうです。「まだ折ることができませんよ」「寝たつきりで駄目だと思っただけれど、折れる」と喜ばれたそうです。生きる限り人々のために折れたら光が差し込むようです。命をどのようになかしていかは一人一人に任されています。最後の時まで人のために使えるのは幸ですね。生かされている命をいとおしんで大切にしたいと思えました。今も！



## 車椅子から眺めてみれば 街のおじさんから

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

### ビリヤード教室

谷町「POOL STUDIO」

講師：JPBA（日本プロポケットビリヤード連盟）所属  
第15回 8ボールオープン優勝 吉岡 正登  
電話：080-3849-1561  
住所：大阪市中央区谷町5丁目 さくらビル3F

### 地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願ひ致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入りの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihan-osaka.or.jp

# か ら ほ い 界 隈 お 散 歩 M A P

其の23

～子育てを支援する場所編～



\*耳寄り情報\*ファミリー・サポート・センター  
「子育てを援助してほしい」「子育てを支援したい」が会員になり地域で子育てを支えあう活動です。  
保育ボランティア養成講座：5月第2土曜から始まり1クール24時間の講習、年4回実施を受け提供会員として登録できます。  
問い合わせ先：06-6213-2170(電話/FAX)



## ★ 田中キッズクラブ

田中小児科向かって左側の建物の2階にある子供広場。中には、子供好きのスタッフが常駐し子供と保護者を見守ってくれます。孫を世話しているお年寄りたちも利用できます。  
電話：090-5369-9209  
時間：9時30分～14時30分

地域活動が盛んで、人と人とのつながりが強い空堀では住民の方たちが温かい目で子供たちを見守ります。子育てを楽しんで苦戦している方、子育てを楽しんでいる方そんな方たちのために、空堀で子供を遊ばせやすい場所、子供と居心地よく過ごせる場所、子育てを支援する場所などをまとめました。

## ☆ からほりサロン



お年寄りのサロンに見られがちですが、子育て世代も大歓迎。子供とのお散歩に疲れた時、子育てに悩みを感じたとき、トイレを借りたいとき、いつでもお立ち寄りください。  
電話：06-6764-4002  
日時：月～金 10時～16時

## ★ キッズルーム にゃんこ



カフェ・レストラン「菜」にあるキッズルーム。平日に満1歳～未就学児は1時間600円、小学生は1時間500円で子供を預かってくれます。先生は元保育士さんなので安心。1度に預かる子供の人数は多くて2人なので、マンツーマンで遊んでくれるのも魅力です。  
電話：06-6762-7333  
日時：月・水・木 14時～17時

## ★ 桃園公園



桃園幼稚園に併設してある公園です。天気の良い日は地域のママさんや子供達で賑わいます。

## ★ 桃谷公園



桃谷小学校跡地の公園。隣接している桃谷会館で、第3木曜日「キューピークラブ」を開いています。幼児とママ。参加100円10時～11時30分

## ★ 関西電力変電所広場



空堀地区の一番隅にある広場です。遊具などありませんが、開放感のある空間なため、子供たちが自前のおもちゃで遊んでいます。